



大会関係者受入支援等に関する業務委託

輸送局出入国部

2021年6月

審議事項

- 2021年7月から、羽田空港及び成田空港での大会関係者受入支援等に関する業務委託をJTBと特別契約（特命随意契約）することについて承認いただきたい。

※JTBとは以下の契約を締結済み

- －大会時の出入国サービス提供に関する契約（「東京オリンピック・パラリンピック競技大会公式到着出発地点及び乗換地点における出入国支援に関する業務委託」）

予算等関連事項

➤ 予定調達方式

特別契約（特命随意契約）

➤ 予定価格

V5予算の範囲内

※全額コロナ対策経費

業務の必要性

- 入国にあたって大会関係者はOCHAの活用など、一般入国者とは異なる特別な入国手続きが取られることとなっている。
- また、大会時は多数の大会関係者が入国するため、検疫エリアにおいて検査結果待ちで滞留することを出来る限り避けるべく、一般入国者との動線分離が図られるほか、選手団については特別な検査オペレーションが用意される予定である。
- このように一般入国者とは異なる特別な措置が取られることから、大会関係者の入国時のトラブルを回避し、入国に大きな支障が生じる事態を招かないようにするためには、組織委員会が大会関係者の受入支援を行うことが必要不可欠である。
- また、出国者については、一般利用者との混交を避けるためのオペレーションが必要である。

業務概要

1.大会関係者受入支援等業務

- ◆到着ゲートにて大会関係者を捕捉、所属等（選手団,V2,V3）を確認、一般利用者との混交を避け誘導
- ◆OCHAアプリを確認後、大会関係者専用の検疫検査の受付へと誘導
- ◆入国時のトラブルについての一時的対応
- ◆選手団については特別な検査オペレーションとなるため、ロードゾーンまでアテンド
- ◆出発ロビーにて出国する大会関係者と一般利用者との混交を回避
- ◆大会関係者へのOCHAアプリ支援

2.入国者リストの作成

- ◆入国受入支援のために必要な入国者リストを作成

1.大会関係者受入支援等業務：必要人員

- ①V3入国リエゾン、②選手団入国アテンド、③V2入国リエゾン、④出国リエゾン、⑤OCHAアプリ支援の5カテゴリーで人員を算出

◆①：到着ゲートで大会関係者を捕捉し受付へ誘導等

ピーク期間は3ゲートに1名、ノンピーク期間は5ゲートに1名配置

(ピーク期間 OG：7/13-7/23、PG：8/17-8/24)

◆②：選手団は検査後ロードゾーンまでアテンド

選手団毎に2名で対応

選手団到着が無い時間帯は①のサポート

◆③：到着ゲートでV2を捕捉し検査結果待機場所までアテンド

(その後PRTチームに引き渡し)

各エリアに1名配置

V2到着が無い時間帯は①のサポート

◆④：大会関係者と一般利用者との混交を回避。各ターミナルに1～2名配置

◆⑤：大会関係者へのOCHAアプリ支援。各エリアに2～5名で対応。

	羽田空港		成田空港	
	ノンピーク	ピーク	ノンピーク	ピーク
①V3入国リエゾン	6	9	20	28
②選手団入国アテンド	4	6	24	36
③V2入国リエゾン	1	1	8	8
④出国リエゾン	1	1	4	4
⑤OCHAアプリ支援	3	5	8	16
計	15	22	64	92

2.入国者リストの作成：業務概要、必要人員

- 入国者リスト（入国日、到着空港、便名等）を作成し、到着ゲートでの確実な大会関係者の補足等に活用する
 - ◆7月 1日～7月23日 6名（羽田担当3、成田担当3）
 - ◆7月24日～8月24日 4名（羽田担当2、成田担当2）
 - ◆8月25日～9月3日 2名（羽田担当1、成田担当1）